

小中一貫教育だより

加東市教育委員会
小中一貫教育推進室
E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp
令和8年4月22日発行

滝野地域小中一貫校 校章について



3月10日に第13回滝野地域小中一貫校開校準備委員会が開催され、滝野学園(愛称)の校章の選定を行いました。市内在住者や滝野地域の3小中学校にゆかりのある方から35点の応募がありました。選定の結果、筒井康子さん(加東市在住)の作品が最優秀賞に選定され、滝野学園(愛称)の校章が決定しました。

【校章に込めた思い】歴史をつなぐことを意識してデザインを考えました。旧滝野町の町章を基にした両小学校の校章をベースに、中学校の校章から流水を引き継ぎました。川の流れは滝野の象徴といえる闘竜灘を表していて、ふるさとの誇る美しい自然を大事にしていこうの思いを込めました。

【滝野学園(愛称) 新校章】

※作品は、一部加工しています。

滝野地域小中一貫校 校歌について

滝野地域小中一貫校の校歌フレーズの応募を行い、80フレーズの応募がありました。これらを参考にしながら、作詞・作曲を行っていきます。作詞者は、兵庫教育大学大学院 言語系教科マネジメントコース教授 菅井 三実氏に依頼しました。菅井氏は、文学教材における登場人物の心情理解と対人コミュニケーションにおける意図理解という分野で、言葉に込められた心や意味について深く研究されており、校歌の作詞をする上で、ぴったりの方です。作曲者は、滝野中学校の卒業生である 杉山 康人氏に依頼しました。杉山氏は、2003年、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のオーディションに東洋人で初めて合格された実績をお持ちで、2006年からアメリカ・クリーブランド管弦楽団の首席チューバ奏者を務められており、世界を舞台にご活躍されています。令和8年度中に作詞・作曲の作業が行われ、完成予定です。

入学式(東条学園小中学校)

4月8日、加東市立各小中学校・義務教育学校で、入学式が行われました。東条学園小中学校では、1年生63名が入学しました。保護者と登校した1年生を、9年生が出迎え、一人ひとりの左胸に花をつけ、9年生が1年生の手を引いて入学式が始まりました。来賓、保護者、教職員、9年生が見守る中、担任の先生からの呼名に元気よく、爽やかな声で返事をしていました。1年生の今後の成長を期待するとともに、活躍する9年生の姿を間近に見た1年生保護者は、「9年後にはこのように成長するのだな」と実感できたことでしょう。小中一貫校ならではの入学式となりました。



【入学式前の教室の様子】



【入学式前教室を出発】



【赤いじゅうたんを進み入場】



【花をつけてもらう】